

11月26日には、リハーサル大会を実施しました。リハーサル大会を通しての課題については、今、集約しているところです。課題の中で施設や対応等について改善できるところは随時、整えていき、来年度の本大会に向けて万全を尽くします。

なお、大町町では、来年度4月に、国民スポーツ大会の機運醸成のため、広く県民の方を対象にデモンストレーションスポーツとして、ウォーキングを開催します。デモンストレーションスポーツとは佐賀県のスポーツの裾野の拡大を図り、競技に関わる全ての人々が生涯にわたって自分のスタイルでスポーツを楽しむ、共感しあえる社会を創るために県民誰もが参加できるスポーツを言います。皆さんが気軽に国民スポーツ大会に参加できる機会を設け、幅広い年齢の方が親しむきっかけになれば良いと考えています。

次に、来年度の町民運動会や県民スポーツ大会の開催については、来年の10月12日、13日、14日に佐賀国民スポーツ大会銃剣道競技会があります。

その事を受け、来年度は県民スポーツ大会も中止となっております、大町町としても、町民運動会は中止とさせていただきます。

町民運動会の開催方法については、議員ご指摘のとおり、現在の町民運動会の内容では参加者の確保が困難であるという声は教育委員会にも届いています。また高齢者が増えているという現実もあり、これまでのような形での開催は難しいのではと考えています。

コロナ禍を過ぎ、各種イベントの形態も変化している中、また新しい形で国民体育大会が国民スポーツ大会に変わったこともあり、再々年度に向けては検討事項とさせていただきます。

## 青色防犯パトロール車の導入について

**議員** 防犯の観点から、他市町では青色回転灯を整備した防犯パトロール車を導入されているところもあると聞いていますが、今後、町でもパトロール車を導入する意向があるかを質問します。

**教育長** 日頃から、議員はじめ地域の方々などのご協力により、安心安全な登下校に向けて、交差点や見通しの悪い道などで定点見守り（立哨指導）や登下校への付き添いなど、見守り活動を行っていただいています。ことに感謝申し上げます。

パトロール車の導入についてですが、子どもの登下校時の見守りでの青色防犯パトロール車の導入は考えていません。

教育委員会としましては、見守り活動の中のひとつである「ながら見守り」を推奨しているからです。「ながら見守り」とは、庭

の花に水やりをする時間や、散歩をする時間、買い物をする時間などを、児童生徒の下校時間帯に併せて行うことです。子どもたちを町民全体で見守っていただけのように、今後はより一層、「ながら見守り活動」への取り組みを啓発していきたいと考えています。

**総務課長** 子どもたちを犯罪から守る意識や、継続する機運の醸成が必要であると共に、運用する団体の組織化等が必要だと思います。

## 火災予防と住宅用火災警報器について

藤瀬 都子

**議員** ①秋の全国火災予防の取り組みについて

秋の全国火災予防運動が全国一斉に11月9日～15日の間行われますが、2023年度全国統一防火標語は「火を消して 不安を消して つなぐ未来」となっていますが、これだけでは、心寂しい気がします。年末になると、消防団員

の方々消防自動車で、町内を周り火災に対する呼びかけが行われます。寒さも加わり自ずと注意喚起させられますので、普段からの心構えとして、呼びかける方法はないものでしょうか。

②住宅用火災警報器の電池寿命は約10年ですが、法律で住宅用火災警報器

の設置が義務付けられていますが、10年前に、全戸数対象に1個ずつ配布取り付けられました。ただこの火災警報器の電池の寿命が約10年と言われています。設置からもう10年経ちましたので、取り扱いは個人が考えるべきだと思いますが、設置時を思い出すと行政としての取り組みの考えをお尋ねします。

**総務課長** ①「秋の全国火災予防運動週間」について、大町町が実施している取り組みを報告します。

まず、期間直前の日曜日に町消防団による町内パレードを実施し、火災予防週間の周知、火の用心の啓